

テレワーク等に活用ください! 東海村産業・情報プラザ「アイヴィル」に 新たなフリースペースを 設置しました



東海村産業・情報プラザ「アイヴィル」では、皆さんがより利用しやすくなるよう、1階のギャラリースペースの一部を改修し、デスクやソファ等を配置して、新たなフリースペースを設けました。

テレワーク等の新しい働き方に対応するとともに、働く方や地域で活動する方などが、多様に交流できる場所としていますので、ご来館の際はぜひご活用ください。

【問い合わせ】産業政策課観光担当(東海村産業・情報プラザ「アイヴィル」内 ☎287-0855)



東海村豊岡と日立市留町を結ぶ国道245号(久慈大橋)

都市計画変更の説明会

を開催します

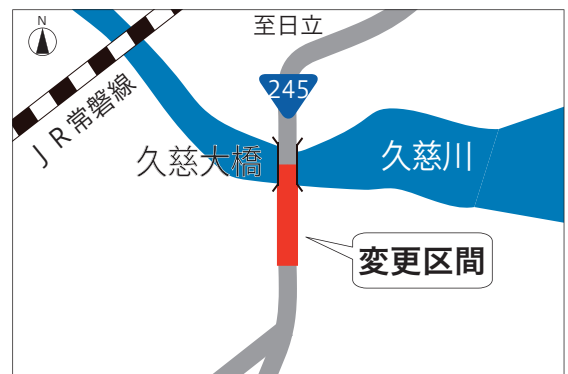
日時▼3月23日(水)午後7時から

場所▼白方コミュニティセンター

変更区間▼水戸・勝田都市計画道路 3・3・77
照沼豊岡線(国道245号)

その他▼詳細は、お問い合わせください。

問い合わせ▼茨城県常陸大宮土木事務所道路整備課(☎0295-52-3156)、東海村都市整備課都市計画推進担当(☎282-1711 内線1235)



村松晴嵐「クロマツ林」リジェネプロジェクト 照沼小の子どもたちが勉強会を行いました!

松くい虫の被害により景観が損なわれてしまった、水戸八景の一つ「村松晴嵐」とその周辺の松林を以前の姿へと回復させるため、令和元年度から始まった村松晴嵐「クロマツ林」リジェネプロジェクト。その取り組みの一つとして、2月17日、照沼小学校5・6年生の子どもたちが、村の木であるクロマツや砂防林について、オンライン勉強会で学びました。

新型コロナウイルスの影響により、当初予定していた、子どもたちによるクロマツの植樹体験は中止に。代わりに照沼小の先生方が、八間道路の海岸部で植樹を行いました。

過酷な状況下でも育つよう、風よけの柵の中に植えられたクロマツの周りには、地面の乾燥を防ぐためのわらが敷かれました。これは約100年前に、今の東海村にあるクロマツ林を作り上げた先人たちの方法を受け継いでいます。

植樹の様子は後日、勉強会に参加した子どもたちに動画で公開され、子どもたちは東海村のクロマツ林が歩んできた道のりや、その大切さについて学習しました。タイトルにある「リジェネ」には“ゆるやかな回復”という意味があります。村では、50年、100年と長い時間をかけてクロマツ林を見守り、景観の再生に取り組んでいきます。



村松晴嵐「クロマツ林」リジェネプロジェクトは、令和元年度から市町村への譲与が始まった「森林環境譲与税」を活用しています。森林環境譲与税は、森林の有する公益的機能の維持増進の重要性を踏まえ、森林の整備およびその促進に関する施策の財源に充てるために創設されたものです。

【問い合わせ】農業政策課農業振興・農地保全担当(☎282-1711 内線1222)

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一般参加者を対象とした植樹体験は中止となりました。